

議 事 録

会議名 令和6年度 第1回国見町総合計画審議会
日時 令和6年9月19日(木) 10:00~11:32
出席者 19名(欠席3名)

1. 開 会 (司会:企画調整課長)
2. 新役員紹介(2名)
3. 町長あいさつ

4. 審 議

① 第6次国見町総合計画の評価について

【質問・意見】

- ・**委員**:資料の見方について、No55の新規就農者数の数え方を単年度に変更したとのことで実績は変更になっているが、中間目標値と目標値についても単年度で8名、10名ということか、それともこちらは累計か。

事務局:No55の新規就農者について、昨年審議会で意見をいただいてから、人数について変更した。なお、今の質問については、中間目標と目標の数値は確認漏れのため必要に応じて来年の中間見直し時に数値を合わせていきたい。

委員:今後見直しが入るということでわかった。

会長:福島県全体ですごく新規就農者が増えているという話も県の審議会で聞いた。新規就農者を増やす取り組みは重要だと思う。

- ・**委員**:第6次総合計画について今評価を伺った。前もってお話するが、議会で一般質問でも質問したが、色々なところで議会の監視機能が不十分という言葉もあったので、おかしいと思うのは納得いくまで聞きたいと思う。

令和4年度第2回の審議会の時に、この第6次総合計画でくにみ学園構想について一部変更されているが、この内容は凍結されている。過疎地域の資料にも事業見直しと書いてある。凍結しているのでは元に戻す必要があるのではないかという問いをしたが、町としては変更するつもりはないとのこと。ただ審議会で変更されているので審議会としての考えをお伺いしたい。

会長:審議会としての考えということですが、今の内容について事前に伺っていないので、もう少し説明をお願いしたい。

委員:議事録にも入っているが、第6次国見町総合計画基本計画の一部変更について議案になっている。くにみ学園構想のところは、認定こども園と小中一貫校を一体的に整備するに変更された。これは現在凍結してなくなっているのでは、前の文面に戻したほうがいいのではないかとということ。

会長:今回の審議事項のKPIの状況と関わりがないご指摘ということでよろしいか。

委員:ただあくまで第6次総合計画についてなので質問した。

会長:関連質問ということか。

事務局：ただいまの指摘に関しては、この間の議会等で答弁しているとおり。今年の3月議会で総合計画の修正をしないのかといった問いに対して、修正については学校のあり方などについて、今後町民や保護者、子ども、教員のみなさんからしっかりと話を伺いながら、検討する。そのうえで一定の方向性が出た時に総合計画を修正するのが、本筋ではないかといった内容の答弁を当時教育長はしている。現段階において事務局としては、その考えに変わりはなく昨日の9月議会でも答弁したとおり。

委員：同じ答弁ありがとうございます。私が聞いているのは、町の考えではなくて審議会が賛成多数で令和4年に可決しているのです、これを戻さなくて審議会がいいのかということを知りたい。

会長：突然議題と関わりのないことなので、なかなか委員の皆さんからは発言しづらいと思う。また、それを判断する材料も今回の審議会では十分出てないので、今この場で審議することは非常に難しいと思うが、委員の皆さんから何か意見はありますか。

委員：後日改めてでも結構です。

会長：この場で皆さんも事前資料などない中で、元に戻すべきかどうかを議論するのは非常に難しいことなので次回以降の審議会に持ち越して、その時に改めて皆さんの意見を伺いたい。

事務局：一点補足すると、基本計画は変更をかけているので元に戻す手続きではなくて今の話の内容で進める場合についても、審議会でも審議をしてもう一度一部変更をする手続きが必要となる。なお、資料等については今後調整する。

- **委員**：KPIのNo59の空き店舗の状況で、空き店舗での出店実績がなしとなっているが、町の担当課や商工会などで町の中の空き店舗の場所だとか、もう少し具体的に言えばゼンリンの地図みたいなものにマーカーで印してここなら建てられるなどの調査をした資料などはあるのか。

事務局：No59は空き店舗を活用して出店・起業するということだが、今質問にあった資料などは現時点ではない。課題として、やはり国見町の商店街はどうしても長屋が多いため、自宅と店舗が一緒になっている。その場合に店舗の部分だけ貸したいが、トイレがないため新たに設置する必要があるなどいくつか課題がある。そのような課題をクリアしながら、空き店舗をどう活用していくかということについては、今委員からあったようにまずデータが大事だと思うので、そこについては商工会と連携しながら今後そういったものを準備していければと考えている。

委員：今私が質問したのは、他の町で商工会が事務局で地図に落とし込んでこんな現状で貸店舗としてあるという情報を作成している。国見町でも作成してその後、希望者にはもっと具体的な条件などを自分なりに整理して相談に来てもらうようにする。そういうことができればいいと思う。

- **委員**：No74と62について、要因の所にエアウィーヴのことが記載されているが、中間目標でいくと金額は減る目標になっている。ただ、件数は2.5倍の12,000件になっている。ということはエアウィーヴじゃなくて個口のふるさと納税に軸足を移していくということか。数字の整合性について説明してもらいたい。

事務局：ふるさと納税については確かに数値的にはそうなっている。令和4年と5年だけで比較しても、現在寄附者数についてはあまり多くなっていないのが現実。ただ金額的には記載にあるとおり、エアウィーヴのおかげで伸びている状況にある。町としては色々なところに波及すると

というのが一番いいと考えている。現在はエアウィーヴ製品と農産物が主な内容になっているが、例えば他にも6次化商品などに脚光を当てて、将来的には色々な相乗効果を生んで伸びていくようにしたい。

② 国見町過疎地域持続的発展計画の評価について

【質問・意見】

・**委員**：大坂オフィスについて、創業の補助制度として始めたとのことだが、基本的にはハードだけの支援か。ソフト面の支援はどのようなことをやっているか。

事務局：大坂オフィスは、町外から国見町で事業をはじめたり、商売をやりたいなどいわゆる起業する方に対して場所を提供するという考え方。スタートしやすい環境を作る形として、リノベーションを行った。

事務局：ソフト面については、令和5年度から町内で新たに起業する方に対して利子補給の補助金制度を設けた。

委員：ソフト面は金額的な支援が主だと思いますが、例えばその企業に対してアドバイザーがいるなども必要ではないか。県の起業支援のインキュベートルームで働いていた経験から、県の支援室のようにコラッセや商工会議所、県産業振興センターなどがあるとすぐ効率よく動けたり、入居者同士でも勉強をしあったりすることで、起業の悩みや孤独に陥るところをカバーしたりしていた。起業する方はどうしても孤独なので、横のつながりやアドバイスをする方がいるなど相談する場所があるといい。大坂オフィスに今入っている3社からはそういった話は出ないのか。

事務局：産業振興課に今入居している3社から具体的な相談はない。正直なところ、産業振興課で起業する際の助言アドバイス等はなかなか難しい部分があり、もし町の窓口でそういった相談があった場合には、商工会を案内する、あるいは福島信用金庫で創業塾ということで、コースに分けて色々助言を行う場もあるので、町としてはそういったところを案内するなどのサポートは行えると考えている。

会長：今の指摘はすごく大事だと思っていて、国見よりも過疎化が進んでいる西会津町に移住者が入ってきているが、やはりそこも創業支援をやらなければということをやっている。前から入ってきた起業家と新しく入ってきた移住者達がそこでお互い学びあいながら、情報交換して新しい仕事を作っている。仕事が生み出すような動きを生み出す地域プラットフォームがあって、そういう場の存在はすごく大きい。もちろん創業塾や創業支援の補助金を出すのも大事なのかもしれないが、国見町も色々な人材が入ってきて、実際にそういう場もできているような話も聞くのでいいことだと思う。自由な意見交換や人が人を呼ぶ動きだとか、仕事が生み出すような自発的な動きが出てくる場作りが大事なのではないか。

・**委員**：11番目の再生可能エネルギーの利用推進について、8項目あるうち6項目が実施未定となっている。3月の新聞によると脱炭素計画策定が国見町は未策定となっていたが、進捗状況はどうなっているのか。

事務局：再生可能エネルギーの利用の推進について、現段階で具体的な事業は行ってない。また、9月議会で再エネ関係の条例が議決された。この条例は皆さんも報道等で耳にしたこと

があると思うが、特にソーラーパネル設置する際に色々と全国でトラブルが出ているため10kw以上で地元の説明会を実施するなどといったもの。今後は自然エネルギーの利用推進について、自然環境と調和を取りながら実施していきたい。

委員：SDGsとか、地球環境の面から考えても、積極的に取り組んでもらいたい。

会長：今年も異常に暑い夏を経験していることからこの分野は大事かと思うので、今後力を入れていただきたい。

- **委員**：8番の教育の振興で、図書館の運営事業についてシステム改修されたと書いてあるが、町の図書館は夜9時まで使えて非常に素晴らしいと感じている一方で時間外になるとボタンで呼ばないと借りられないのが非常にネックになっている気がする。他の図書館で導入しているような自動で貸し出しできるシステムの導入を検討してもらいたい。そうすれば、利用者も時間外で司書ではない職員が対応して本の守秘義務とかを心配することがなくなるのではないかと思う。

もう一点は、農作業や最近各町内会で草刈りをやっていたが、非常に高齢化が進んでいた。70代80代の方が自分の草刈り機を持ち出して暑い中で一時間ぐらい集落のためにやってもらっている。ただ安全面ですね当てやゴーグルもしていないし、作業前に石を拾うなどもしていないのではないかと思い、いずれ事故などがあたら心配だなと感じている。また、将来的にこうした作業も高齢化が進んで人口が減ると人手不足となるので今後どう運営していくのか心配している。

事務局：図書館については意見を伺ったので、今後検討していきたい。

会長：草刈りについてはロボットなどでできるようになると言われているが、まだ実用化する時までには至っていないので、これからどういう風に人手不足を補っていくか考える必要がある。

事務局：まず、農作業を行う際の安全対策については全国的に農作業中の事故によって怪我や亡くなる方が毎年多いので、町でも国や県から届いた資料をHP等には掲載している。今後は農業事故が起きないように農協などと連携しながら、安全講習会の開催を検討していきたい。もう1点、共同作業するにも毎年農家の皆さんも一歳ずつ年を重ねて、当たり前だが毎年作業する方々が集まらないという話は各地区から多く出ている。それを改善するために町としても地道な努力になるが、新規就農者をしっかり確保することがまずは大事だと思っている。また、その地域の農地で農業をやっている方だけで行うのではなく、地域全体で共同作業を行うなどの広がりができれば、作業する方の負担も少しは和らぐと思うので、今後は地域に入って理解を得ながら作業する方を確保していくことが大事だと考えている。

委員：農業をやっていなくて草刈り機を持っていない方に、ゴーグルなども含めて補助を出す、ほしい人には配るなどの方法を考えてもらいたい。

会長：農業の人手不足問題について先日二本松へ勉強しに行ったが、やはり集落で今後世代交代すると担い手が減っていく。また、担い手だけではなく、いわゆる資源管理作業の草刈りなど共同作業をする人の力もこれから世代交代が起きてくる中で非常に難しい段階に入ってくるのではないかと集落のある区長が言っていた。やはり今まではそれぞれの農家の親方意識が一人一人強く、職人気質の方が多かったが時代が変わっていく中で、先ほど事務局も話したように、地域で助け合うとか、地域ぐるみで農地を管理するような仕組みに少しずつ切り替え

ていくようなことを考えていく必要がもう目の前に迫っている。ただいきなり集落でとなるとまだまだ反発があるので、地域の中でそれ以外の分野を例えばお祭りや地域の伝統行事などから繋がりを少しずつ作っていく。その中で地域の農地集落の農地という形で、これからみんなで守っていくような話に繋げていく。そのためにも、みんなでこれまでの集落の取り組みを振り返るような集落の歴史ややってきたことを振り返るような学び合う場が必要ではないかと話す方もいた。集落についてはもちろん担い手対策の取り組みも必要だが、社会教育的な取り組みも非常に重要になってくると思う。

③ デジタル田園都市国家構想交付金について

【質問・意見】

令和5年度地方創生推進タイプの効果検証

- ・ **委員**：地域全体でのまちづくり人材育成プロジェクトのKPI③でフェイスブックとInstagramのフォロワー数がすごく減っているが、何か要因はあるのか。
事務局：記載の数値は現在のフォロワー数ではなくて、その年度に増加した分になっている。最初は大きく伸び、その後少しずつ増えていき最終的には2,159のフォロワー数が、増えた結果となった。
- ・ **委員**：地域ブランドと魅力発信を図るCIプロジェクトのKPI②の道の駅の売り上げについて、高速道路からおりてきて道の駅に入れず車がいっぱいになり他の直売所などに流れている。そのため売上也ロスしているので何とかできないかとの話があった。
事務局：道の駅はやはり桃の最盛期の時には来場者が多くて、4号線、あるいは県道の方まで車が出てしまい駐車できない状況が、コロナ禍が明けた去年から続いている。それを受けて、道の駅の第2駐車場をビジネス訓練所と4号国道の間にある町有地に整備する計画がある。その駐車場ができて、全てが解決できるわけではないかもしれないが少しでも繁忙期の駐車場所を確保して、道の駅としてのチャンスロスを減らしていきたいと考えている。
委員：レジ待ちもすごい列ができていた。やはりその時期だけでもいいから、レジの数を増やしてもらいたいとの要望もあった。
事務局：駐車場を広げればお客さんも増えるので、そうすると当然今委員から指摘のあったレジがより混むことが考えられる。その部分については繁忙期のレジの混雑解消のため、昨年度からセルフ会計の導入をするなどして、少しでも混雑の緩和を測っている。引き続き、いただいた意見についてはまちづくり会社へ繋いでいく。
- ・ **委員**：宮城県の村田の道の駅では高速のインターからおりて、道の駅に行って高速に戻っても料金はかからない。国見でも高速道路に要望すればいいのではないか。
事務局：国見の道の駅の場合はインターチェンジから道の駅までの距離があって、その制度を適用することができない。距離的に近い村田や猪苗代の道の駅は制度の該当になっている。
- ・ **委員**：先日、東京に住んでいる孫と国見サービスエリアに行った。桃やりんごのジュースが蛇口から出ていて東京の人はインスタを見て行きたがっていると孫から聞いた。下道から入るが、道が狭く分かりづらく狭い。せっかく駐車場が整備されたから高速に乗らなくても行けるのをもっとアピールできたらいいがもったいないと思う。

事務局：現状ではサービスエリアまでの道のりが分かりづらいということで、その辺りについては工夫していきたい。

会長：今出てきたような意見はすごく大事。利用者の目から見てもっと魅力的に盛り上げていくにはどうしたらいいのかはすごく大事だと思う。

委員：今の質問の答弁はちょっと違う気がする。委員が話したのは、貝田の道路整備の件ではないか。貝田宿からサービスエリアに上がっていく狭い道が広くなるという話ではないか。

事務局：現在、貝田の旧道からサービスエリアに向かう道路が急勾配で狭いため新たなサービスエリアまでのアクセスルートは今検討している。当然橋の掛け替え等もあるので、橋についてはJRと新たに橋をかけるのか、線路の下を通すのか協議を進めている。協議の結果などを踏まえて、新たなアクセス道路の整備を行ってきたい。

委員：これについては阿津賀志山に登る方の道路から行けば、高速道路の側道になるので意外と広いのではないかと。JR線を越えて直角に曲がることをしないで下の方から高速道路をくぐって側道行けばいいのではないかと思う。

事務局：様々な意見あると思うが、アクセスルートについて色々なパターンを含めて検討していきたい。

委員：道路が整備されるまでは、やはり標識がない。標識については今からでもできることをぜひやってもらいたい。

事務局：現状で分かりやすい標識というのは必要だと思うので、設置の検討をしていきたい。

【質問・意見】

令和6年度地方創生推進タイプ・デジタル実装タイプ実施事業の概要

- **委員**：デジタルと直接関係ないかもしれないが、最近、真っ青な桃を買いたいと不審な人が来たりしているが、桃の盗難もあるので入り口あたりに顔認証システムじゃなくても防犯カメラがあると安心できる。

先ほども桃の話がでたが、国見町は8月末で国見営農センターだけで12億という桃の売り上げ販売額だった。皆さんに買って応援食べて応援ということで、おかげさまで史上初の10億越えの販売金額をとった。ふくしま未来として、お礼する。また来年も食べて応援、買って応援でよろしくお願ひしたい。

事務局：桃の盗難などに対して農地に防犯カメラ設置の要望は、町内会の要望事項でも出ている案件なので今後検討したい。

桃については昨年初めて国見営農センター内で10億円を超える10.9億円の実績だったが、今年は既に12億円を超えているということで過去最高を更新しているので、引き続き特産品の桃の生産維持に向けて取り組み進めていきたい。ぜひ、みなさんにも国見の桃のPRをよろしくお願ひしたい。

④ その他

【質問・意見】なし

事務局: 第6次国見町総合計画が令和8年度から後期期間に入ることを踏まえ、前期期間の総括や後期期間の見直しや KPI の修正について検討が必要となります。スケジュール的には今年度から次年度で議論を行う必要があり、具体的なスケジュール案については次回2月開催予定の審議会で示したい。なお、見直し等のため準備資料として現在人口ビジョンの見直しへ向けた情報整理を行っていますが、必要に応じて町民アンケートの実施等も検討していく予定です。

5. 閉 会